新潟県の概要

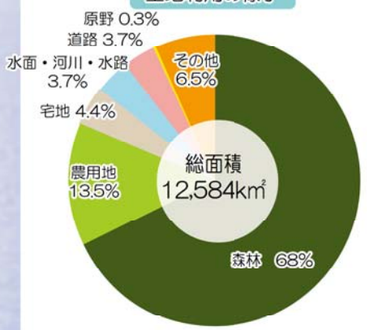
県の位置

新潟県は日本海沿岸のほぼ真ん中に位置し、朝日山地、飯豊山地、越後山脈、西頸城山地及び白馬山地の 1,500m から 2,000m 級の山々に囲まれ、面積は 12,584.15km²（内、佐渡島 855.66km²、粟島 9.78km²）で、北海道、岩手県、福島県、長野県に次いで全国第５位の広さをもつ、南北に長い県です。

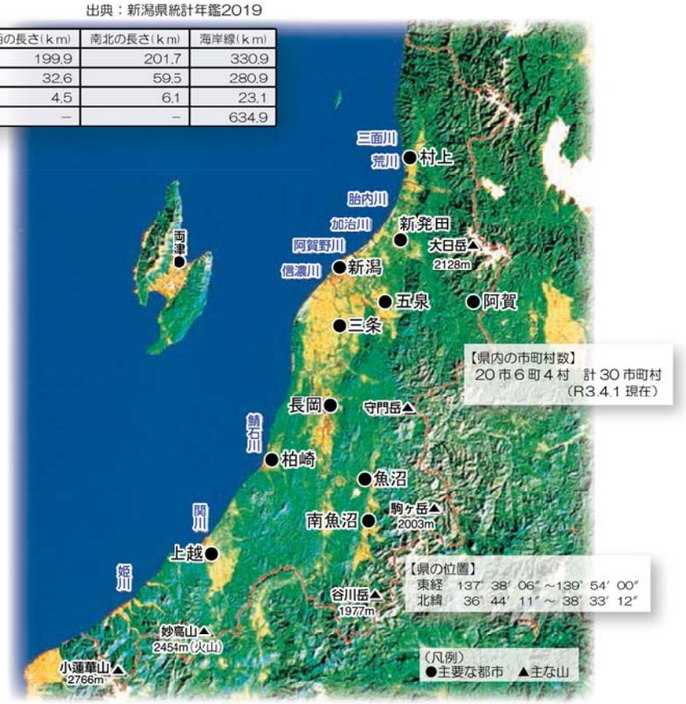
【県の面積・海岸線等】　出典：新潟県統計年鑑2019

区分	面積(km²)	東西の長さ(km)	南北の長さ(km)	海岸線(km)
本土	11,718.79	199.9	201.7	330.9
佐渡	855.67	32.6	59.5	280.9
粟島	9.78	4.5	6.1	23.1
合計	12,584.24	–	–	634.9

土地利用の様子



出典：土地利用現況把握調査（令和元年）



県の地形

本県は、県境付近に連なる山々が急峻で谷が深く、脆弱な地質と相まって土砂の流出が大きいため、全国一の地すべり地帯となっています。また、これらの山岳に源を発する信濃川、阿賀野川の下流域には、日本海沿岸随一の広大な越後平野、鯖石川下流域には刈羽平野、関川下流域には高田平野などが広がっています。

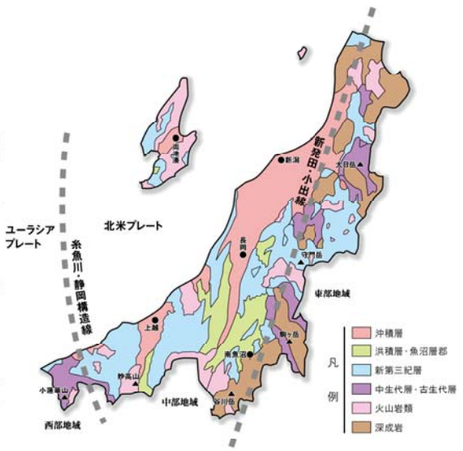
県の地質

本県は、地質の違いにより大きく東部・中部・西部の三地域に分けることが出来ます。

東部地域は、村上市から新発田市・旧小出町さらに魚野川に沿って苗場山（標高 2,145m）を結ぶ線から、東側の古生層と花崗岩類を中心とした地域です。

中部地域は東部地域の境から、いわゆる糸魚川ー静岡構造線の間の地域で、新第三紀、第四紀層の津川層から寺泊層、椎谷層、西山層のほか、火山岩類や魚沼層群等からなります。

また、西部地域は糸魚川ー静岡構造線以西で、中世層・古生層が広く分布し、ほかには相川層群や第四紀火山岩類が見られます。



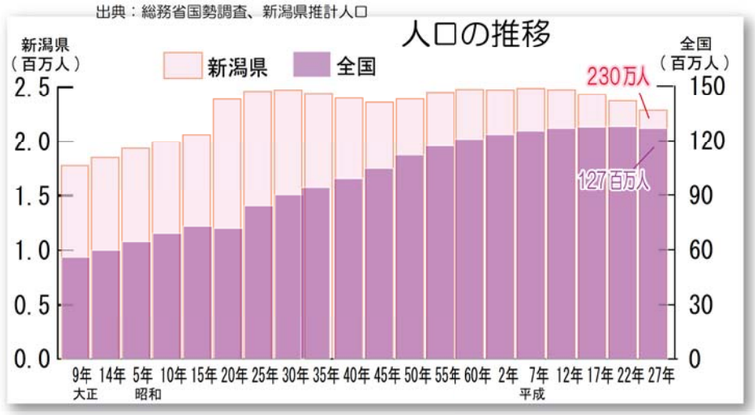
出典：新潟県の砂防

県の人口

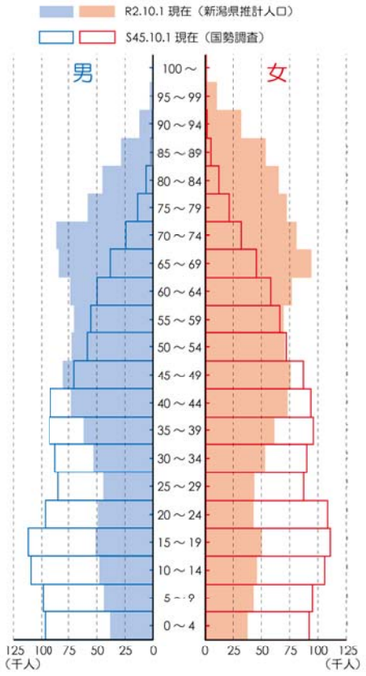
本県の人口は、平成７年国勢調査では 248.8 万人と過去最高となりましたが、平成 12 年国勢調査では 247.6 万人、平成 17 年度国勢調査では 243.1 万人、平成 22 年国勢調査では 237.4 万人、平成 27 年国勢調査では 230.4 万人、令和２年 10 月１日の推計人口※は 220.0 万人であり、前年同月と比べると約 2.2 万人減少しています。このうち、老年人口（65 歳以上）の占める割合は 33.0% に達しており少子高齢化が進行しています。

※推計人口とは国勢調査の確定値を基に出生・死亡・転入・転出数を加減し各市町村の人口と世帯数を推計したものです。

出典：総務省国勢調査、新潟県推計人口



年齢別人口ピラミッド



県の気象

新潟県は、山形・福島・群馬・長野・富山の各県との県境が標高 2,000m級の山に囲まれており、日本海に面しているという地形の影響により、日本でも有数の豪雪地帯として知られています。

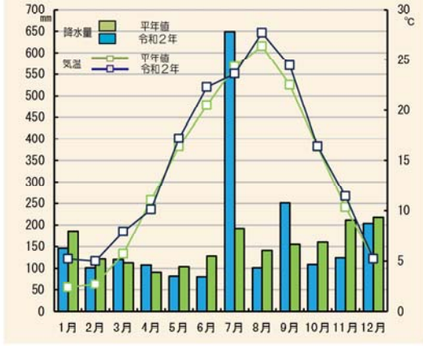
雪やみぞれの降る冬季に年間降水量の半分以上があり、年間降水量が 1,821 ㎜（※1981～2010 年の平均）と極めて雨量が多い地方です。

出典：新潟地方気象台ホームページ「新潟県における雪の特徴」

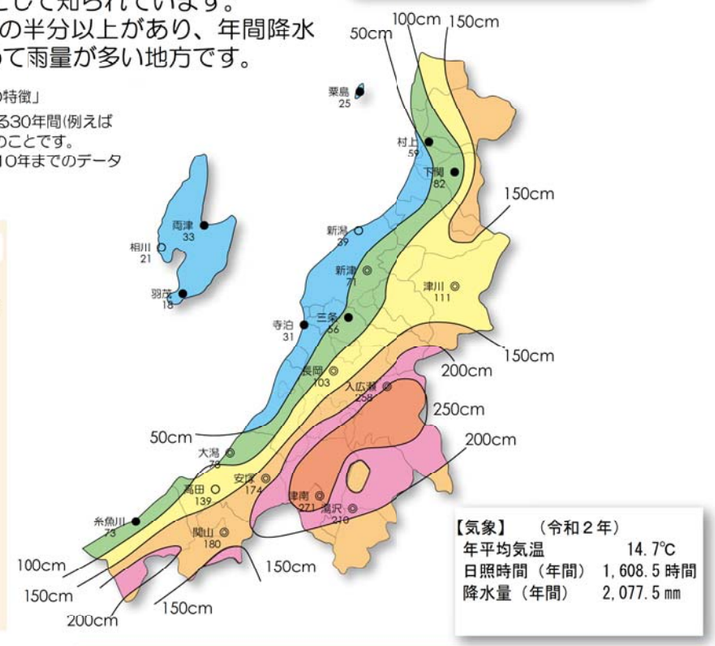
※平年値とは「西暦年の1位が1の年から数えて、連続する30年間(例えば1981年から2010年)について算出した累年平均値」のことです。
平年値は１０年ごとに計算し、現在は1981年から2010年までのデータから求めた値を使用しています。

新潟地方気象台の気温と降水量（令和２年）

出典：気象庁ホームページ



最深積雪平年値分布図



【気象】　（令和２年）

年平均気温	14.7℃
日照時間（年間）	1,608.5 時間
降水量（年間）	2,077.5 ㎜

統計期間：気象官署［○］1971-2000 年、アメダス［◎］1980-2000 年、委託観測所［●］1978-2000 年